

安全上のご注意

* ご使用前に、この「安全上のご注意」と「使用上のご注意」をよく読み、正しくご使用してください。

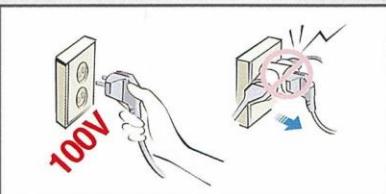
* ここに表示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人の危険や損害を未然に防止するためのものです。

* 安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

* 本説明書を、お読みになったなら、お使いになる方が、いつでも見られる所に保管してください。

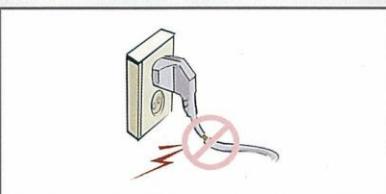


! 警告事項：人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。



01 本製品は100V専用です。
電圧を確認した後、100V専用コンセントに連結し、他の家電製品と一緒に連結しないでください。

▶ 火災、負傷、感電事故の原因となり、電気漏電による火災の恐れがあります。



02 電源コードを延長コードに連結して使ったり、損傷した電源線やプラグ、緩いコンセントは使わないでください。

▶ 電気漏電により発火、故障、感電事故の原因になります。



03 製品を任意に解体して、修理や改造をしないでください。
また、足湯以外の用途として使わないでください。

▶ 電気漏電により感電や火災、故障の原因になります。



04 濡れた手でプラグを絶対触らないでください。
また、作動中には機器を移動しないでください。

▶ 感電の原因になります。

▶ 機器の横倒しによる、やけど事故が生じることがあります。

安全上のご注意

! 警告事項：人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。



05 热器具や可燃性物質(有機溶剤類、ガス類など)を、製品の側に置かないでください。

▶ 製品の変形、または火災の原因になります。



06 製品から変な音、匂い、煙が出るなど、製品に問題が生じたら、直ちにプラグを抜いてください。
速やかに、発売元に連絡してください。

▶ 火災、感電事故の原因になります。



07 使用時や清掃時には、本体に水が入らないようにしてください。

▶ 本体を水につけて清掃するのは、絶対に控えてください。



08 高血圧患者、妊娠婦、皮膚疾患者、薬品服用者、及び一人で体を支えられない老弱者や子供は、使わないでください。

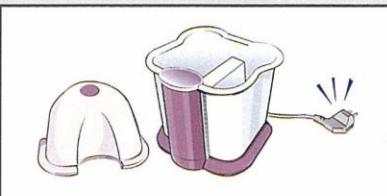


09 水がない状態で電源プラグを差し込んで、作動しないでください。

▶ 製品加熱により、火災及びやけどや製品故障の原因になります。

▶ 必ず適正水位内まで水を満たして、ご使用してください。

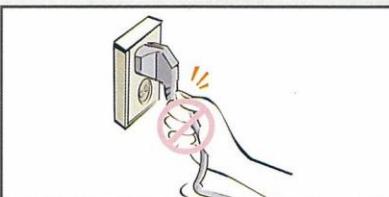
安全上のご注意



10 機器の清掃等を行う場合は、必ずプラグを抜いてください。

▶火災、感電事故の原因になります。

⚠ 警告事項：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される場合。



01 電源線を無理に引っ張って抜いたり、無理に曲げたりしないでください。
使わない時は、プラグを抜いてください。

▶絶縁性能の劣化により、漏電の恐れがあります。
▶故障、感電の原因になります。



02 製品内部には、きれいな水以外に洗剤や薬品、牛乳などの飲料水を入れないでください。

▶製品故障の原因になります。
▶温度上昇の原因となり、やけどの原因になります。



03 デジタル計器盤に水や他の異物が入らないように、ご注意してください。

▶故障、感電の原因になります。



04 使用中に漏水が発生した時は、直ちにプラグを抜いて使わないでください。

▶感電や、やけどの原因になります。

各部の名称と機能



正しい使用法

使用前の準備事項

- 心掛け：足湯をする前に、心身をリラックスさせてください。
- 場所と使用時間：湿気がなく、平らな場所に設置し、1回の使用時間を30分以内にしてください。
- 補助道具：椅子、数枚のタオル、入浴剤などが必要です。

水を満たす

1 足湯器を取り出して、水を適正水位内まで注ぎます。

- ▶ 水を適正水位の目盛りの範囲内に入れてください。
- ▶ 電源プラグが、水に濡れないように注意してください。
- ▶ デジタル操作パネルに、水が入らないように注意してください。



2 摂氏18°Cの水を加熱ヒーターで38°Cまで上昇させるには、約30分かかります。お急ぎの方は予め35°C前後のお湯を用意し、適正水位内に入れてください。約5分以内でお好みの温度になります。

- ▶ 热湯を注いではいけません。
- ▶ 電源を付けると警告音が鳴って足湯器は作動しなくなります。
- ▶ また、やけどの恐れがありますので、ご注意してください。
- ▶ 取扱説明書13ページの「名板の表示とボタンの機能」を参照にしてください。



3 足湯をする場所に移動してください。

- ▶ 水がこぼれないように注意しながら、製品の底に装着されているキャスターを利用して移動してください。



4 電源プラグを差し込みます。

電源は必ず100Vを使い、他の家電製品と一緒に連結しないでください。

- ▶ 取扱説明書1~3ページの「安全上のご注意」と取扱説明書11~12ページの「使用上のご注意」を必ず守ってください。



正しい使用法

足湯を開始して下さい。

*スタートボタンを押して足湯をする間は、温度が下がらず設定温度が維持されます。

1 電源ボタンを押します。

- ▶ 電源ランプが点灯し、温度表示窓に現在温度が表示されます。



2 予熱ボタンを押します。

- ▶ 足湯を始める温度(38°C)まで自動的に予熱します。
- ▶ 予熱を終えた後、足湯の開始を知らせるブザーが鳴ります。
- ▶ この時、現在温度は38°Cを表します。
- ▶ 空気の泡は自動的にオン、オフを繰り返して作動します。



3 スタートボタンを押します。

- ▶ この時、時間は30分、温度は42°Cに自動的に設定されます。(以後5分が経過する度に時間LEDは一つずつ点滅されます。)
- ▶ 希望温度を設定する場合、上げる・下げるボタンを押して適当な温度に設定します。
- ▶ 但し、43°C以上を設定する場合、水が熱すぎて、やけどの恐れがありますので、ご注意してください。



4 空気の泡ボタンを押します。

- ▶ 空気の泡を連続して使用したい場合は、ボタンを押してください。



5 椅子に腰を伸ばして座り、両足を水に入れ、リラックスして足湯を開始してください。



正しい使用法

- 6** 足湯が終わると自動的に時間ランプが消灯し、現在温度が表示されます。

▶ 設定温度が43℃以上ある時は、足湯が終わると電源がオフになります。



- 7** 続けて足湯をする場合

▶ 水の温度が38~42℃間であれば、スタートボタンを押し(時間30分、温度42℃に自動設定)、水の温度が38℃以下であれば予熱ボタンを押して予熱した後、スタートボタンを押します。
空気の泡は自動的にオン、オフを繰り返して作動します。
43℃以上の水であると警告音が鳴ります。



- 8** 足湯が終わったら、足を浴槽から抜いて電源を消します。

▶ 準備したタオルで足を拭いてください。



水を捨てる

足湯の後、水を捨てる時は排水ホースを利用して水を捨ててください。

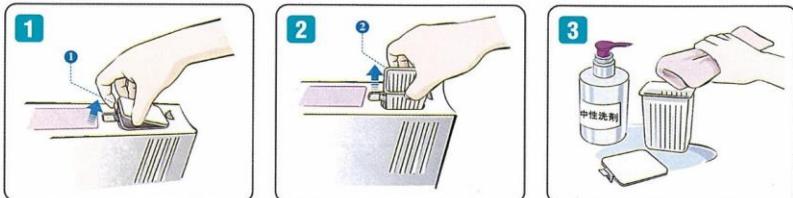


正しい使用法

清掃する

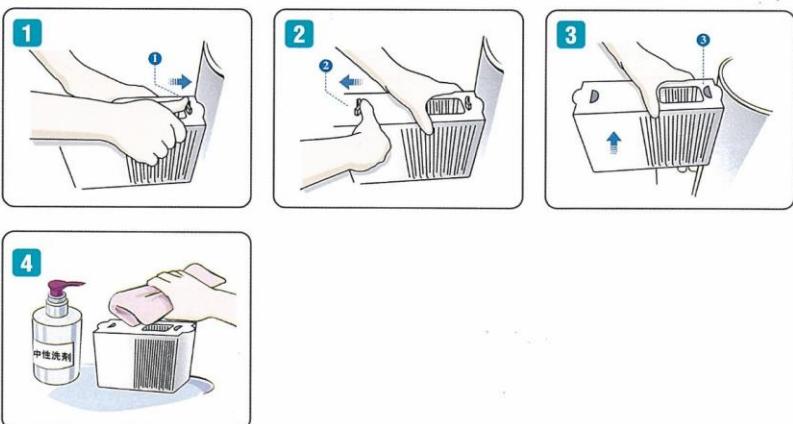
入浴剤収納ボックスを清掃する

- ①の部分を指先で押して矢印方向に引っ張りカバーを開けておきます。
- ②の入浴剤収納ボックスの上部を上に引っ張りだします。
- やわらかいスポンジに中性洗剤を塗って拭いた後、きれいな水で洗浄します。
その後十分に乾燥させ、組み立て、保管します。



格子キャビネットを清掃する

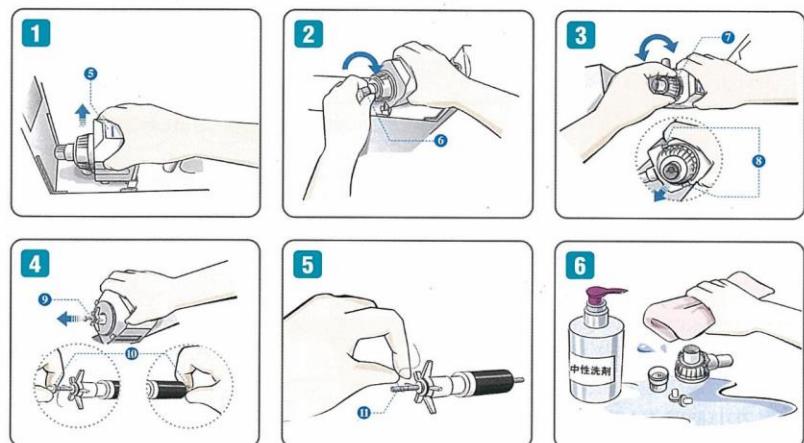
- 格子キャビネットを手で捉えた状態で、①の部分を親指の先を使って矢印方向に押します。
- ②の部分を親指の先を使って矢印方向に押します。
- 同時に③の格子キャビネットを上に引っ張り取り出します。
- やわらかいスポンジに中性洗剤を塗って拭いた後、きれいな水で洗浄します。
その後十分に乾燥させ、組み立て、保管します。



正しい使用法

本体を清掃する

- 1 格子キャビネットを取り出ると、⑥の循環ポンプが出てきます。
循環ポンプを取って上に引っ張ると、簡単に循環ポンプが分離されます。
▶但し、循環ポンプと本体が電線で連結されているので、十分に注意しながら作業をしてください。
- 2 循環ポンプの前部に⑥のカバーを矢印方向に回して分解します。
- 3 ⑦の部分を両方向に回しながら、広い溝が⑧の輪部分に平行になった時、矢印方向に引っ張り分離します。
- 4 ⑨のプロペラを矢印方向に引いて抜き、⑩のゴム栓を取り出します。
- 5 プロペラを貫いている⑪の鉄ボビンに巻かれた異物(髪の毛など)を除去します。
- 6 残りの部品及びゴム栓は、水で洗浄します。その後十分に乾燥させ、組み立て、保管します。



足湯後の管理

足湯が終わったら、バスタオル等で足の水気を十分に拭き取ってください。



使用後の保管及び管理

- 1 使い終えたら必ず電源ボタンを押して電源を消してください。
その後、電源プラグを抜いてください。



- 2 本体を子供やコミュニケーションが難しい人の手が届かない所に保管してください。



- 3 足湯の後、水を捨てる時は排水ホースを利用して水を捨ててください。



- 4 機器の清掃時に、本体を水に浸けないでください。



- 5 機器の内部を清掃する時は、水を捨てた後、きれいな水で洗浄してください。
中性洗剤を使う場合は、やわらかいスポンジに洗剤を塗って拭いた後、再度きれいな水で洗浄してください。



- 6 洗浄が終わった後は、乾いたタオルなどで水分をよく拭き取ってください。乾燥後、直射日光や高温多湿な所を避けて保管してください。



注意) 足湯器本体を絶対にひっくり返して乾燥させないでください。故障の原因になります。

使用上のご注意

水は必ず製品内部に表示された適正水位内まで注いで、ご使用してください。

- ▶ 水が水位未満である場合、機械が作動できないことがあります。
- ▶ 水が水位超過である場合、水が溢れてやけどの恐れがあります。



デコボコした面や傾斜が激しい所に置いて、使わないでください。
必ず平らな所に設置してください。

- ▶ 製品の横倒しによるやけどや、感電事故の恐れがあります。



製品を足湯以外の用途で、使わないでください。

- ▶ 故障や、やけどの恐れがあります。



飲み水に準ずるきれいな水を使用してください。
また、水を汚したり、異物が入らないようにしてください。

- ▶ 製品故障の原因になります。



作動中、本体に足を入れたまま立ち上がったり
製品に力を加えないでください。

- ▶ 倒れたり、製品の損傷による感電、故障の恐れがあります。



製品を落としたり、外部に衝撃を加えないようにしてください。

- ▶ 製品故障の原因となります。



使用上のご注意

固形の入浴剤を使用する場合は、必ずフィルターネットに入れて使用してください。

- ▶ フィルターネットに入れない場合、入浴剤から出るゴミにより、製品が故障することがあります。



必ず水を満たしてからプラグを差し込み、
機器を作動させてください。

- ▶ 加熱による、製品故障を減らすことができます。



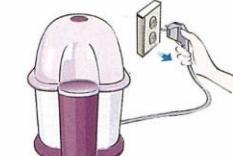
製品の上にのったり、座ったりしないでください。

- ▶ 無理な荷重を加えると、製品の損傷の原因になります。



使用中に停電した場合は、直ちにコンセントから
電源コードを抜いてください。

- ▶ 製品はリセットされます。
再度足湯をする場合は、設定をしなおして下さい。



電源コード及び排水ホースを製品から引っ張らないで
ください。

- ▶ 電源コード及び排水ホースの損傷による、感電の原因になります。



40°C以上のお湯を、直接入れないでください。

- ▶ やけどの恐れがあります。

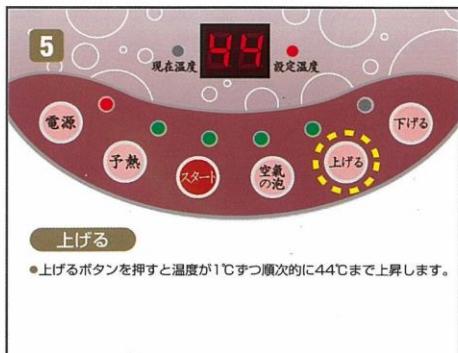
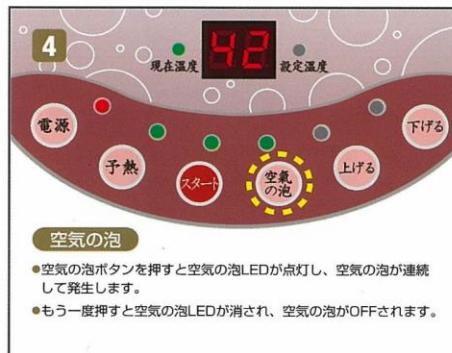
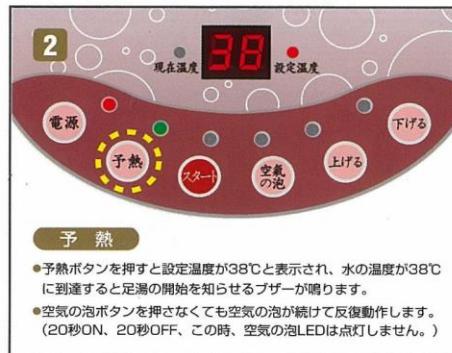


名板の表示とボタンの機能

* 注意) 熱い湯(43°C以上)を注いだ後に、電源を入れると、警告音が鳴り足湯器は作動しなくなります。

* 使用中に停電やその他の理由で電源が切れた場合、機器はリセットされます。

初めからまた設定し直してください。



こんな異状を感じたら

症 状	確認事項	措置事項
本体内部の水の温度が上がらない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れて電源ランプが点灯するのか確認。 格子キャビネットを開いて循環ポンプが詰まつたのか確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源をもう一度入れてみる。 「電源ランプが点灯しない」と、発売元に連絡して措置。 循環ポンプを清掃してもう一度作動してみる。
水の量が減る。	<ul style="list-style-type: none"> 本体の底辺で水が漏れないのか確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを直ちに抜いて、発売元に連絡して措置。
温度表示窓に「SH」が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 電源をもう一度入れてみる。 水の温度が高すぎないか確認。(43°C以上) 	<ul style="list-style-type: none"> お湯を冷たい水で薄める。(38°C程度)
温度表示窓に「TOP」が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 電源をもう一度入れてみる。 ブザーが続けて鳴るのか確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れてみて、音が続けて鳴る場合は、発売元に連絡して措置。
デジタル計器盤のボタンが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> 水気が本体の基盤に入ったのか確認。 湿気が多い所なのか確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜いて風通しがいい所に置いて、一日程度乾かす。(製品をひっくり返さないでください。)

■ 製品仕様

- 販 売 名: ASHIYU FOOT SPA
- 品 番: ST-8000
- 定 格 電 圧: AC100V (50/60Hz)
- 定 格 時 間: 30分
- 定格消費電力: 600W (電動機15W、電熱装置585W)
- 温度ヒューズ: 250V/10A/72°C
- 製 品 重 量: 約6.2kg
- 製 品 サ イ ズ: 幅430×奥行420×高さ590(mm)
- 材 質: ポリプロピレン/ABS樹脂
- 電 源 コ ド: 約2m
- 溶室外床上屋内用



株式会社 タカギ
型 番: ST-8000
定 格 電 圧: 100V
定 格 周 波 数: 50-60Hz
定格消費電力: 600W(電動機15W、電熱装置585W)
定 格 時 間: 30分
温度ヒューズ: 250V/10A/72°C
溶室外床上屋内用
製 造 国: 韓国